

## 麒麟獅子を中核とした日本遺産認定申請について

### 1. 日本遺産とは

#### 我が国の文化・伝統を語るストーリーを認定

「日本遺産」は、魅力あふれる有形・無形の様々な文化財群を地域が主体となって総合的に整備するとともに、面として活用し、国内外へ戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的とし、その地域の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもの。

#### ●申請タイプ（以下2種）

- ・地域型：単一市町村内でストーリーが完結
- ・シリアル型：複数市町村にまたがってストーリーが展開

#### <これまでの認定状況>

◆H27：18件（申請83件中） ◆H28：19件（申請67件中） 計37件

※2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに100件程度を認定する予定

#### <県内の認定状況（2件）>

##### ①三朝町（H27 地域型）

六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～

##### ②大山町・伯耆町・江府町・米子市（H28 シリアル型）

地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市

### 2. 本市の取組内容と今後の展開

#### ●取組経過

本年7月、鳥取因幡・兵庫北但西部の1市6町により構成する「麒麟のまち創生戦略会議」において、圏域に共通する歴史文化遺産である「麒麟獅子」を中核とする「日本遺産」の認定に向け、研究をスタート。



麒麟獅子を中核とするシリアル型による日本遺産認定をめざす

#### ●取組内容

- ・日本遺産認定申請に向けたストーリー等の検討・作成
- ・獅子舞団体の組織化（県・市実施）
- ・麒麟獅子PRチラシの作成・配布による機運の醸成
- ・因幡の麒麟獅子舞調査（県実施）への協力・支援⇒平成21年3月、「国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択。専門家による詳細調査を実施中。

#### ●今後の展開（予定）

日程	内容	内容詳細
29年2月	文化庁へ日本遺産認定申請	
29年4月	認定結果公表	日本遺産審査委員会